



西岡恵子 議員

学校給食

現在の食環境は安全性において、不安要素が大きい。遺伝子組み換え・残留農薬・O157・BSE、そして今回の鳥インフルエンザの問題等、安全・安心な学校給食への対策はいかにか。地産地消への取り組みは、国・県において地域の農業の活性化、食糧需給率の向上等を目指し、推進している。学校給食での検討については。

県・町内産の旬食材を考慮

学校給食の食品の安全については、牛肉は国内産を使用し、卵や鶏肉は加熱処理の調理で対応している。

男女共同参画社会の実現

真の男女共同参画社会の実現は男だから・女だからでなく、人が人としてお互いにその人権を尊重して生きていく社会づくりである。本町においても様々な取り組みがされているが、その成果と今後の計画は。

講演会や広報など啓発活動を実施

男女共同参画社会基本計画策定に向けて、調査研究を進めたい。

福祉の充実

過去において財政が厳しくなると、福祉切り捨てのところがあつたが、今回の行財政改革は本町の福祉向上をも目指すと言われている。児童・高齢者・障害者

に対する施策は。今後はハード面からソフト面への政策転換をし、温もりのある福祉の充実を図るべきと考えるがいかにか。

児童手当が小学校3学年まで拡大

福祉施策を維持するため、国・県に補助金の存続を働きかけていく。

下水道事業

長引く不況と国の財政悪化に伴い国レベルでの公共事業の見直しが始まり、現在進められている下水道事業においても平成14年12月4日付けで農水省・国交省・環境省連名で知事への通達が出され、流域下水道計画も汚水適正処理構想での見直しが行われている。

6月頃見直し原案が策定

汚水適正処理構想見直しの進捗状況については諸調査等のデータの収集、整理作業中。素案が出来次第、県と協議し策定していく。

吉野川第十堰問題

最近になり、再びこの問題が注目されている。県はこの度吉野川整備計画の要望書を作成、国に提出するようだが、その内容についてはいかにか。第十堰を核

堤防強化を要望

県は現堰を有効活用する考えであり、河川整備計画が早期に策定されるよう期待する。

ゴミ問題について

鳴門市と広域的ゴミ処理を目指し検討してきた組織が昨年解散、今後のゴミ行政についての方針を尋ねる。また、循環型社会の構築を目指し、ゴミの減量化は住民の意識改革・協力が大切、そのための講演会、勉強会を提案する。

講演会を予定

県の協力を得て、事務レベルで近隣町とゴミ処理の広域も含めた協議をしていきたい。

行財政改革

民間委託について、委託

先の決定にあたり計画案の提出だけでなく、事業実績も必要ではないか。勤労女性センターがこの度の行財政改革で民間委託への対象となつているが、事業内容の継続は可能か。行財政改革には町民の理解が必要、説明責任を果たすよう願う。

身近な施設として引き続き活用を

女性センターが民間委託後も行政の仕事として位置付けして、実行のサービスが低下しないように努める。

庁舎北東部の「すみ切り」

藍住町土地利用指導要綱により「すみ切り」の指導を行っているが、庁舎北東部交差点よりの敷地はいかがか。

歩道を車道に改良

役場敷地内のすみ切りについては、県の歩道を車道に改良するため、県と十分協議をして、対応していきたい。



庁舎北東部交差点